

平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月3日

上場取引所 東

上場会社名 カネコ種苗株式会社

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長

(氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	36,015	9.9	764	227.7	849	183.9	514	189.7
25年5月期第3四半期	32,757	3.9	233	△51.8	299	△44.5	177	△36.8

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 577百万円 (75.2%) 25年5月期第3四半期 329百万円 (10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	43.81	—
25年5月期第3四半期	15.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第3四半期	33,932	13,466	39.7	1,146.51
25年5月期	38,483	13,149	34.2	1,119.28

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 13,466百万円 25年5月期 13,149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	9.00	—	12.00	21.00
26年5月期	—	10.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	2.8	1,650	19.2	1,750	18.1	1,050	18.4	89.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期3Q	11,772,626 株	25年5月期	11,772,626 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年5月期3Q	27,274 株	25年5月期	24,414 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期3Q	11,746,880 株	25年5月期3Q	11,748,475 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊迫感を増すウクライナ情勢や新興国の経済成長に翳りが見られるなど、海外におけるマイナス要因の影響が懸念されるものの、震災復興需要や政府の経済対策などの効果もあり企業業績の改善が進み、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が発生したことなどから個人消費が増加、雇用情勢にも着実な改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調を辿っております。

また、国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、農業への影響が懸念される環太平洋経済連携協定（TPP）交渉の行方や関東地区中心に多くの農業用ハウスが倒壊するなどの甚大な被害をもたらした大雪など、国内農業を取り巻く環境は不透明さを増しております。

こうしたなか当社グループの業績は、農材及び施設材事業の業績が順調に推移したことなどにより、売上高360億15百万円で前年同四半期比32億57百万円（9.9%）の増収となり、利益面でも営業利益7億64百万円で前年同四半期比5億31百万円（227.7%）増、経常利益8億49百万円で前年同四半期比5億50百万円（183.9%）増、四半期純利益5億14百万円で前年同四半期比3億37百万円（189.7%）増と増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、前期に発生した永年牧草地の更新需要が一巡したことによる牧草種子の売上減少があったものの、野菜種子の輸出でキャベツ、国内販売及び輸出ともに伸長したタマネギが売上増加に貢献し、売上高44億96百万円で前年同四半期比4.2%の増収となりました。

花き事業

花き事業においては、営利栽培者向けシクラメン種苗の販売が増加したものの、一般家庭の園芸用品に対する支出が減少していることや緑のカーテン需要の減退などの要因から、家庭園芸資材の販売が不振だったことにより、売上高47億4百万円で前年同四半期比2.5%の減収となりました。

農材事業

農材事業においては、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に加え、害虫の発生増による殺虫剤の需要増、得意先のニーズを捉えた営業活動でシェアアップに努めたことなどで農薬の売上が増加し、売上高160億7百万円で前年同四半期比14.0%の増収となりました。

施設材事業

施設材事業は、震災復興需要から被災地のイチゴ栽培農家向けに温室及び養液栽培プラントの完工売上高が大幅増となったほか、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により一般農業資材の販売が急増したことなどにより、売上高105億99百万円で前年同四半期比13.7%の増収となりました。

造園事業

売上高2億6百万円で前年同四半期比15.7%の減収となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、339億32万円となり、前連結会計年度末と比較して45億50百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また「負債の部」の残高は、204億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して48億67百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

「純資産の部」の残高は、134億66百万円で前連結会計年度末と比較して3億16百万円増加いたしました。これは主に利益計上に伴うものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が従前の予想を上回る状況にあることなどから、平成26年1月7日の「平成26年5月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました前回予想を、下表のとおり修正いたします。

平成26年5月期通期連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	54,500	1,650	1,750	1,050	89.39
今回修正予想（B）	55,500	1,650	1,750	1,050	89.39
増減額（B－A）	1,000	—	—	—	—
増減率（％）	1.8	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成25年5月期）	54,006	1,383	1,481	886	75.45

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,137,657	2,560,537
受取手形及び売掛金	21,320,711	14,847,809
商品	5,806,893	7,251,539
その他	1,515,280	1,420,753
貸倒引当金	△75,116	△52,141
流動資産合計	30,705,425	26,028,498
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,144,432	4,175,004
その他（純額）	1,765,035	1,697,346
有形固定資産合計	5,909,468	5,872,350
無形固定資産		
投資その他の資産	91,333	74,425
その他	1,843,218	2,031,324
貸倒引当金	△65,986	△74,033
投資その他の資産合計	1,777,231	1,957,291
固定資産合計	7,778,034	7,904,067
資産合計	38,483,460	33,932,566
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,601,163	15,678,395
短期借入金	1,935,000	2,615,000
未払法人税等	334,891	30,914
その他	1,070,887	775,232
流動負債合計	23,941,942	19,099,542
固定負債		
退職給付引当金	1,081,219	1,086,941
役員退職慰労引当金	215,380	196,580
その他	95,393	83,299
固定負債合計	1,391,993	1,366,820
負債合計	25,333,936	20,466,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,206	1,765,221
利益剰余金	9,693,935	9,950,120
自己株式	△14,462	△16,989
株主資本合計	12,935,946	13,189,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,577	276,583
その他の包括利益累計額合計	213,577	276,583
純資産合計	13,149,523	13,466,202
負債純資産合計	38,483,460	33,932,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	32,757,204	36,015,080
売上原価	27,522,501	30,397,748
売上総利益	5,234,702	5,617,332
販売費及び一般管理費	5,001,485	4,853,075
営業利益	233,217	764,256
営業外収益		
受取配当金	26,810	28,419
投資事業組合運用益	—	12,742
受取家賃	43,887	45,449
その他	21,374	20,331
営業外収益合計	92,071	106,942
営業外費用		
支払利息	23,579	20,980
投資事業組合運用損	969	—
為替差損	563	—
その他	827	425
営業外費用合計	25,939	21,406
経常利益	299,349	849,792
特別損失		
投資有価証券売却損	1,377	—
固定資産処分損	3,136	3,568
特別損失合計	4,513	3,568
税金等調整前四半期純利益	294,835	846,224
法人税等	117,225	331,600
四半期純利益	177,609	514,624

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日）
四半期純利益	177,609	514,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152,003	63,006
その他の包括利益合計	152,003	63,006
四半期包括利益	329,613	577,630
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,613	577,630

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年6月1日 至平成25年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,315,413	4,827,950	14,046,641	9,322,315	244,885	32,757,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,610	2,384	1,202	7,407	3,776	49,379
計	4,350,023	4,830,334	14,047,843	9,329,722	248,661	32,806,583
セグメント利益又は損失（△）	509,784	△177,700	148,891	313,564	1,661	796,200

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	796,200
全社費用（注）	△562,983
四半期連結損益計算書の営業利益	233,217

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年6月1日 至平成26年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,496,178	4,704,906	16,007,953	10,599,595	206,448	36,015,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,135	95	1,282	4,130	—	40,642
計	4,531,313	4,705,001	16,009,235	10,603,725	206,448	36,055,722
セグメント利益又は損失（△）	521,508	△190,496	427,240	561,800	△8,430	1,311,622

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,311,622
全社費用（注）	△547,366
四半期連結損益計算書の営業利益	764,256

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。